

シロウラナミシジミの飼育法

2006. 1. 30 仁平勲



はじめに

シロウラナミシジミは八重山地方に定着（もう土着と言っても良いでしょう）する大型で見栄えのする佳蝶です。

食草はショウガ科のシュクシャ、ゲットウ、ウコンなどのつぼみ、花、柔らかい実です。関東での飼育適期のその時期に飼育の元を得たいところですが、春～夏過ぎまでは極端に個体数が少なく、いくら幼虫が穴をあけもぐりこんで、アリをともなっているといてもその時期に探すのは効率が悪く大変です。

採卵と初令

採卵には下図のようなケースを使います。プラケースの蓋の中央を適当な大きさにカッターでくりぬき、そこにゴースを裏からセロテープで貼ります。大、中、小と3個揃えると中入れにして携帯にも便利です。このケースは他に母蝶、小食草、の持ち帰りや三角紙入れ等色々な用途に合わせて併用して使うことができます。

現地では今回時期的にゲットウの硬い実しかなかったので適当に割り使用しました。他に給蜜用のマメ科の花も入れました（結果的に1日で萎れてしまうので余り役には立ちませんでした）母蝶は植物からでる

秋になると栽培のウコンの花をもとに個体を増し、時には大発生することもあります。夕方多くの個体が飛翔する様は関東のウラクロシジミの飛翔を彷彿させられます。

この時期には卵も幼虫も簡単に見つかるはずですが、栽培の畑に立ち入ることは、はばかれ、避けなければなりませんのでまななりません。

そこで本種の飼育には、今回説明するように、秋に母蝶を数頭得て産卵させることから始まるわけです。

水分などを吸っているようで、格別給餌しなくても大丈夫ですが、心配でしたら脱脂綿に浸したものをゴースの上に乗せてやれば十分です。産卵用の餌も1～2日くらいで萎れたり乾燥したりしますので、産卵されているかどうかを確認しながら、こまめに交換する必要があります。卵は食草にはもちろんのこと他の花やケースなどにもべたべたと生みつけられています。

母蝶は結構長生きで7～10日位は生きています。関東には現地同様の食草はありませんので持ち帰ったものは代用としてミョウガを使用します。



上図のケースはケース内で動ける大きさの蝶ならなんにでも利用できます。
 右上はミョウガに散付された卵と1令幼虫です。南方の蝶は3~5日位と孵化が早いので要注意です。本種の場合産卵直後は青く



見えますが、孵化が近づくと白くなってきますので判別は容易です。
 孵化した幼虫は別ケースの食草に小筆で順次移し替えて行きます。

2令以降



ミョウガは上図のように3~5ミリくらいの輪ぎりとし、お互い接しないように配慮して並べ順次孵化幼虫を付けてゆきます（勿論、最初から1頭ずつ飼うのは最もベターです）その後、成長に伴い適当に輪ぎりの厚さを増して行きます。ミョウガを丸ごと1頭に与えても良いのですが、若令ではカビたり腐ったりするまでにとっても食いきれず無駄になるし、幼虫が深くもぐりこんで確認不能になるからです。中央にピンクの2令が見えますが、この終期あたりか



ら共食いははじまりますので、すぐ、1頭ずつに分け以後の飼育を続けます。野外のミョウガを使用する場合は花の付け根から微生物が沢山もぐりこんでいて初令などたちまち食われてしまうので、花を取り泥やごみをよく洗うことはもちろんのこと、水に1日ほどつけて灰汁出ししてから使用したほうが良い。その点結構高いがスーパーなどで売っているものはきちんと洗ってあり手間がかからないのはうれしい（もっとも、冬場になるとスーパーにしかない）

終令と蛹

終令になると体色はベージュとなり、糞も多くなる。ただこの頃真冬にかかるようなときは、食いが悪くなったり動きが鈍くなったりするので、少し暖ためてやる必要がある。色々な方法があるが、私は微暖温が一定で食草の持ちが比較的良いので、小型犬用のホットプレートを重ねている。

それでも通常より食草の持ちは悪くなるので、こまめにのぞき新鮮な餌を常に与えるようにしなければならない。この頃の食いが成虫の大きさにかなり影響するからである。暖めると食草の水分で容器に蒸気や水滴が発生するが、もともと水っぽい餌を食しているのでまるで苦しにせず、むしろ生き生きとしてくるような気がする。

蛹化の場所を求めて歩き始めるようになったら、折ったダンボールやティッシュなどで隠れる場所を作るとよい。

蛹化し容器が羽化に適した大きさならそのままプレート上に置いておく。転がった蛹になった場合はかたくなってから、尾端を厚めの紙などにボンドで固定する（これは各科共通で蛹からの完全脱出を促進させるためである）また、プラケースは滑りやすいので羽化のときつかまれるものを用意してやる配慮も必要である。

かくして 10～15 日位後には美しい成虫がわが手のなかにある。

蛇足ながらカンナも代用食になると言うが試したことがないので不明である。

